

新幹線地本申 | 2号

その3

「2021年度新幹線総合車両センター事業計画に関する申し入れ」

団体交渉実施！！

新幹線地本は3月24日、表題について新幹線統括本部と団体交渉を行いました。主な議論は以下の通りです。

■第6項 建屋の老朽化、女子更衣室の環境改善に向けての対策を明らかにすること。

回答：職場環境については、引き続き、改善に向け取り組んで行く考えである。

- ・建屋の雨漏れ修繕には1億円を超える規模で取り組んできた。
- ・設備の老朽取り換えについては新幹線の安全を確保するものなので確実に実施していく。
- ・地震対策は東日本大震災を受けてのものが基本になっている。課題があれば対応内容を検討していく。
- ・中央会食所1階の女子更衣室については、じっくり改善での取り組み等により環境改善へ向けて問題意識が高まっている。手狭な環境であることを踏まえ、今後の在り方については検討している段階である。

■第7項 通勤障害時におけるフォロー体制を明らかにすること。

回答：就業規則に則り取り扱うこととなる。

- ・基本的には、業務遂行上で問題がある（工場が稼働できない等）場合にフォローを検討する。
- ・管理者が通勤列車の運行状況等を把握し、総務科へ要請するのが基本となる。
- ・輸送障害発生時にバス輸送をするかどうかについては、その都度幹総として状況を判断することになる。
- ・バス輸送実施時の社員への周知方法について、電話連絡以外についても何が出来るか勉強はしている。
- ・バス輸送ができない現実については、イオンモール開業を受けて周囲のお客さまの視線というのも多少の影響はあるのかもしれない。

■第8項 「イオンモール新 利府南館」オープンに伴う影響により、各種業務に支障ないよう関係機関と連携した対応をとること。

回答：関係個所と連携して対応することとなる。

- ・イオンモール開業後、新利府駅からのお客さまの動線の実態を受けて、道路等の改善ができないかという問い合わせを自治体に投げている。
- ・お客さまには引き続き、利府駅を利用していただくよう案内をしている。
- ・現状では大きなトラブルはないが、セキュリティ面での問題があれば検討していく。

安全・技術を守れる職場環境を目指し

団体交渉で確認した内容がしっかり守られているか

そして必要な部分については継続して検証運動を行っていきます！